

料金別納郵便



留守 玲・市岡真治 展

令和7年4月2日(水)~7日(月) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日7日は午後5時まで)

作家在廊日：留守 玲/4月2日(水)、7日(月)

市岡真治/会期中、全日在廊予定

留守玲の作品は、鉄の硬いという概念を裏切り、その素材の中に内在する様々な表情を探り出す。それを鉄の中に発見し、触発されて形が派生する。素材自体は熔けた鉄が重なってできた板の層だが、裏面から熔接することで表面が柔らかに濡れたような表情を醸し出す。今回の「The tube element」は、底を抜くことでそれを可能とした。とくに、動きだそうとする力感が魅力的だ。

市岡真治の「魚々子(ななこ)金輪寺」は、金属器の表面に魚々子鑿(たかね)で文様を打った薄器で、これまでも制作してきた作品だが、その容姿は凛として自信に満ちている。真鍮地の上に薄っすらと青味がかり、奥深い趣を醸し出している。これまでの魚々子作品の傑作と言ってもいいだろう。

この二人の作品は、展覧会ごとに想像を超えて進化していく。これは、有りそうで無いことだ。制作に対する拘(こだわり)と厳しさがなければ、生まれない作品である。 **森 孝一(美術評論家)**

留守 玲
るす あき

昭和51年 宮城県生まれ

平成15年 第11回 日本現代藝術奨励賞

平成19年 工芸のカー21世紀の展望(東京国立近代美術館工芸館)

平成28年 第2回 菊池寛実賞(智美術館)、第27回 タカシマヤ美術賞

平成29年 第34回 淡水翁賞 最優秀賞

現在 多摩美術大学 工芸学科 准教授

市岡真治
いちおか しんじ

昭和51年 広島県生まれ

平成14年 多摩美術大学大学院 美術研究科 修了

神奈川県小田原市にて鍛金による作品を制作

柿谷ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

公式Instagram



